菅社協だより

No.36
発　行／菅地区社会福祉協議会
発行人／大澤敏夫
編集人／五嶋庸成
事務局／川崎市多摩区登戸1891
第3井出ビル3階
福祉パル内
TEL044-935-5500

2年ぶりに学校関係者と菅地区社協との懇談会開催

令和3年9月29日（水）に2年ぶりに菅地区にある小学校4校・中学校2校・高等学校1校の全7校の校長とPTA会長、保護司、菅町会会長および菅地区社会福祉協議会（以下、菅社協）役員・理事が参加して懇談会が開かれました。

初めに菅社協・大澤会長から「新型コロナ感染症の影響でなかなか行事が行われない中、学校との関係が薄れていくことを懸念している。有意義に意見交換を行いたい」との挨拶がありました。

この後、保護司の方が「第71回社会を明るくする運動」の趣旨や取り組みについて説明があり、また社明運動（社会を明るくする運動）作文コンテストで、菅地区から優秀作品3編が選出された」と報告されました。

続いて各学校より意見や地域での問題点が出されましたが、コロナ感染症対策など対応に苦慮されていることと、危険地区・箇所に対する見守りへの協力依頼がありました。

また、ネット社会の影響やヤングケアラーなどの心配事も話されました。

菅高等学校では、自転車の指導を行っている他スケートボードの練習場所として、「フロンタウン生田」の多目的広場を交渉中とのことでした。

更に、通学路の問題として、歩道が狭く、登校時は車道にはみ出して歩いている所があるとの報告がありました。

菅社協は、「第16回社会福祉のつどい」を、中止する旨の説明を行いました。

菅町会会長から、英会話教室などの教養活動を行っていることの説明の他に「一昨年の三沢川の内水氾濫での被害に伴い、避難場所を増やして貰えないか」との要望が出されました。

最後に、「限られた時間の中で、各学校と多数意見交換ができた。来年も引き続き行いたい」との言葉で閉会となりました。

菅中学校・南菅中学校・菅高等学校の皆さん

菅小学校・東菅小学校の皆さん

南菅小学校・西菅小学校の皆さん

菅社協・大澤会長ほか関係者

質疑応答

意見交換

みんなの公園体操

ゆっくり身体を動かすストレッチ体操

菅仙谷公園　毎週金曜日　午前9時～

菅なかよし公園　毎週月曜日　午前9時～

みんなの公園体操　問い合せ先：多摩区役所　地域みまもり支援センター　地域支援課　TEL：044-935-3294

俳句

南菅老人いこいの家　指導　葛野　良子

参道に父の名煙る石灯籠　栗田　優子

いたづらに揺らす吊橋ななかまど　飯塚　有子

小春日や畑の隅の老談義　大和　京子

短歌

菅老人いこいの家　指導　句坂美佐子

異常気象に寒暖の差大なりき
金木犀も二度咲きを見つ　小松　君子

歩道わきのつつじの根元植え込みに
早くも水仙芽を出（いだ）しいる　村田　忠和

山裾にひっそりと咲く葛（くず）の花
吾の心中見抜くがに如き　佐藤　絹枝

レッツ・トライ

～老人会食委員会から～

ぶりの照り焼き、卵焼き、ほうれん草の白和え、牛乳寒天抹茶ソースかけ

献　立

- ぶりの照り焼き
- 卵焼き(A)
- ほうれん草の白和え(B)
- 牛乳寒天抹茶ソースかけ(C)
- ご飯

材料（4人分）

(A) 卵 …… 4個
白だし …… 大さじ1
水 …… 大さじ4
塩 …… 少々
油 …… 適量

(B) ほうれん草 …… 150g
絹ごし豆腐 …… 100g
人参 …… 50g
しめじ …… 50g
白すりごま …… 大さじ1
しょうゆ …… 小さじ2
砂糖 …… 小さじ2/3

(C) 粉寒天 …… 2g
牛乳 …… 600ml
砂糖 …… 50g
抹茶 …… 大さじ1
砂糖 …… 20g
熱湯 …… 50ml
ゆであずき …… 少々（飾り用）

作り方

(A) 1.油以外の材料をすべて合わせかき混ぜる。
2.卵焼きフライパンに油をひいて焼く。

(B) 1.ほうれん草は、ゆでて3㎝の長さに切り水気を絞っておく。
2.人参は3㎝長さの千切に、しめじは小房に分けそれぞれゆで水気を切っておく。
3.豆腐はキッチンペーパーに包み、電子レンジ600W 2分加熱し、水切りをしておく。
4.ボウルに3の豆腐を入れ、泡だて器でかき混ぜる。すりごま、しょうゆ、砂糖を加えさらにかき混ぜる。
5.4の豆腐に1と2の材料を加えて和える。

(C) 1.鍋に粉寒天と牛乳半量を入れ、中火にかけ混ぜる。沸騰したら2分煮る。
2.1に砂糖（50ｇ）を加えさらに1分煮たら火を止め、残りの牛乳を加えて混ぜる。あら熱をとり、容器に均等に流し入れ、冷蔵庫で冷やして固める。
3.ボウルに抹茶、砂糖（20g）、熱湯を入れよく混ぜる。
4.2の寒天に3をかける。おこのみでゆであずきをのせる。

コラム

暁暁（シャオシャオ）と蕾蕾（レイレイ）

新型コロナ感染症の恐怖から約2年が過ぎようとしています。2021年は東京オリンピック、パラリンピックにひとときの力をもらった夏でしたがテレビの新規感染者速報に一喜一憂の毎日でした。そんな中、昨年6月東京上野動物園に誕生した双子のジャイアントパンダ「暁暁（シャオシャオ）（オス）」と「蕾蕾（レイレイ）（メス）」の映像が映し出されると自然と笑みが浮かんできます。

『暁』には夜明けの光が差し明るくなる。

『蕾』にはつぼみから美しい花が咲き、未来につながる。という意味が込められたそうです。これからは姉パンダ『シャンシャン』のように、日本のマスコットとなってくれるでしょう。様々な感染症のストレスが続く中、安らぎと元気を届けてくれる2匹の成長を楽しみに、穏やかで平穏な日々を…としみじみ思うこの頃です。

～春近し　パンダに託す　幸（さきわ）ひを～

石橋　千鶴